



環境報告書
2021

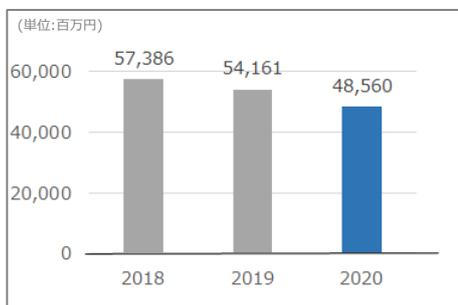
Contents

会社概要	1	省エネルギー・ 省資源への取り組み	4
環境マネジメント	2	環境会計	5
2020年度 環境保全活動総括	3	環境保全活動トピックス	6
マテリアルバランス	3		

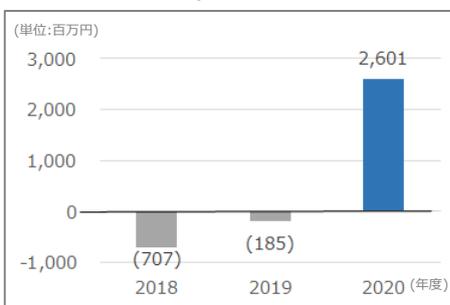
会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創業	1925年（大正14年）4月3日
主な事業	電気、通信および電子機器その他産業機械、情報機器等に使用される各種電子機構部品の製造販売
資本金	7,996百万円
社員数	5,407名（グループ）
本社	〒142-8511東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL. (03) 3785-1111（代表）
主な製品	高周波同軸コネクタ／FPC対基板コネクタ／基板対基板コネクタ／ジャック／リモコン／スイッチ／ 各種無線モジュール／カメラモジュール／抵抗膜方式タッチパネル／静電容量方式タッチパネル

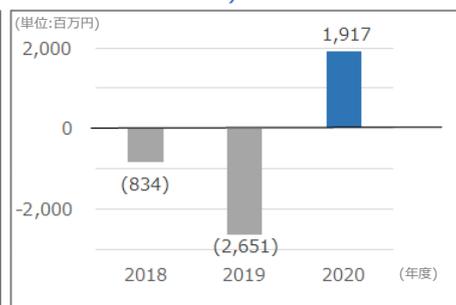
売上高(連結)



経常利益 (連結)



当期純利益 (連結)



本報告書について

対象期間 2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

集計範囲 SMK株式会社（国内7拠点）および連結子会社（国内3拠点、海外16拠点）

CO₂換算係数

- ・国内の購入電力のCO₂排出量は、電気事業低炭素社会協議会公表の換算係数を使用しています。
- ・海外の購入電力のCO₂排出量は、2005年度から2011年度排出分はIEA(International Energy Agency)、2012年度以降はDEFRA(Department for Environment Food&Rural Affairs)公表の換算係数を使用しています。
- ・燃料のCO₂排出量は、環境省公表の換算係数を使用しています。
- ・CO₂換算係数の更新により、過去年度の実績を修正しています。

企業情報の入手方法 会社案内、IR情報、製品紹介、過去の環境報告書はSMKホームページで公開しています。

<https://www.smk.co.jp/>

CSR情報はこちら：<https://www.smk.co.jp/csr/>



環境マネジメント

SMKグループ環境憲章

1.基本理念

SMKは良き企業市民として社員一人ひとりが地球規模で持続的発展が可能な社会に寄与するという自覚を持ち、総合的な高度技術により経済発展と環境保全の両立に努めます。

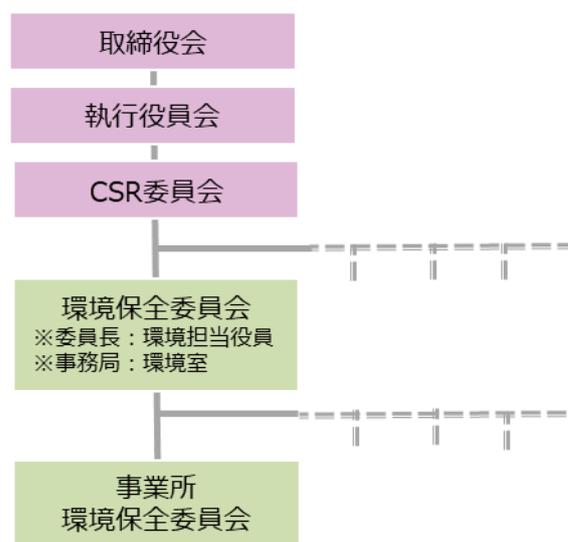
2.行動指針

- (1) 環境にやさしい製品の開発をします。
- (2) 物を大切に、廃棄物を減少させます。
- (3) 資源を大切に、エネルギーを節約します。
- (4) 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進します。
- (5) 無駄のない購入・生産をします。

環境保全推進体制

SMKの環境保全に関するグループの方針、目標、施策は環境担当役員を委員長とする「環境保全委員会」と、重要事項については執行役員会で審議、決定し、国内外の事業所に展開されます。各事業所ではグループの方針、目標、施策を受け、さらに固有の課題も取り入れて「事業所環境保全委員会」で事業所の方針、目標、施策を定めて活動を行っています。

環境保全組織



環境マネジメントシステム

SMKは国内・海外の全生産事業所で、ISO14001国際規格に基づく環境マネジメントシステムを構築しています。2007年度からは、各拠点での活動に加え、全グループ共通の目標、テーマを設定して拠点間のつながりを強化し、グループ全体のシステムの高度化を図ってきました。また、環境保全活動はグループ内にとどまらず、2004年に初版を発行したグリーン調達ガイドラインでは、協力会社様にも活動推進をお願いしています。具体的には、SMKが禁止する環境負荷物質の不使用をお約束いただくとともに、ISO14001に基づく体制の構築をお願いしています。ISO14001の認証を取得されていない協力会社様に対しては、環境保全活動の実施状況を訪問して確認し、改善指導を行っています。



環境保全委員会(本社)

2020年度環境保全活動総括

地球温暖化防止

CO₂総排出量は、目標を達成することができませんでしたが省エネ改善を推進した結果、前年度より若干減少となりました。生産高CO₂原単位は増加となりました。

生物多様性保全

新型コロナウイルス感染予防の観点から、毎年実施してきた近隣の小学生を対象とした環境学習講座の開催を見送りました。

資源の有効活用

製造工程における“ムダ取り”活動を推進した結果、廃棄物総排出量は減少、生産高廃棄物原単位は前年度並みとなりましたが、両指標とも目標を達成することができませんでした。

埋立処分量は、海外でのリサイクル推進により目標を達成しました。

環境関連物質管理の確実な対応

環境関連物質管理システムに新機能を追加し、充実化を図りました。

環境配慮設計の強化

製品アセスメントとエコ商品の統合に向けたシステム仕様ならびに運用案を策定しました。2021年度は統合方針に則り、具体的な活動を進めます。

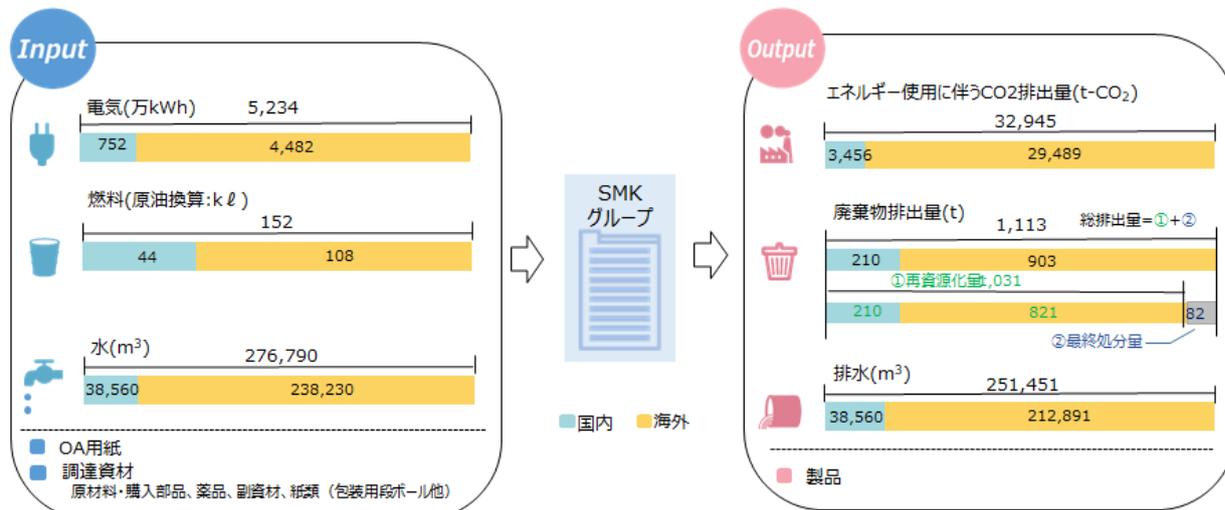
自己評価：○目標達成 △不十分 ×目標未達成

取り組み項目	2020年度		自己評価
	目標	実績	
地球温暖化防止	生産高CO ₂ 原単位*1 前年度比 1%増加 見込み：0.66t - CO ₂ /百万円	7%増加 0.70t- CO ₂ /百万円	×
	CO ₂ 総排出量 前年度比 9%削減 目標：30,140t- CO ₂	1%削減 32,945t- CO ₂	△
生物多様性保全	生物多様性保全の普及啓発	新型コロナウイルス感染予防のため環境学習講座を見送り	×
資源の有効活用	生産高廃棄物原単位*2 前年度比 3%削減 目標：0.023t/百万円	前年度比100% 0.024t/百万円	△
	廃棄物総排出量 前年度比 13%削減 目標：1,042t	7%削減 1,113t	△
	埋立処分量 前年度比 15%削減 目標：88t	16%削減 87t	○
環境関連物質管理の確実な対応	部材構成情報登録・EU-REACH規則対応システムの効率運用	管理システムに新機能を追加して、物質情報の充実化を図った	○
環境配慮設計の強化	製品アセスメントのレベルアップ	製品アセスメントとエコ商品システムの統合案を策定	△

*1:生産高CO₂原単位=CO₂排出量/生産高 *2:生産高廃棄物原単位=廃棄物排出量/生産高

マテリアルバランス

SMKでは製品の設計・開発、製造、販売などグループ全体の各プロセスにおける環境負荷量のマテリアルバランスを把握・解析し、低減化に努めています。

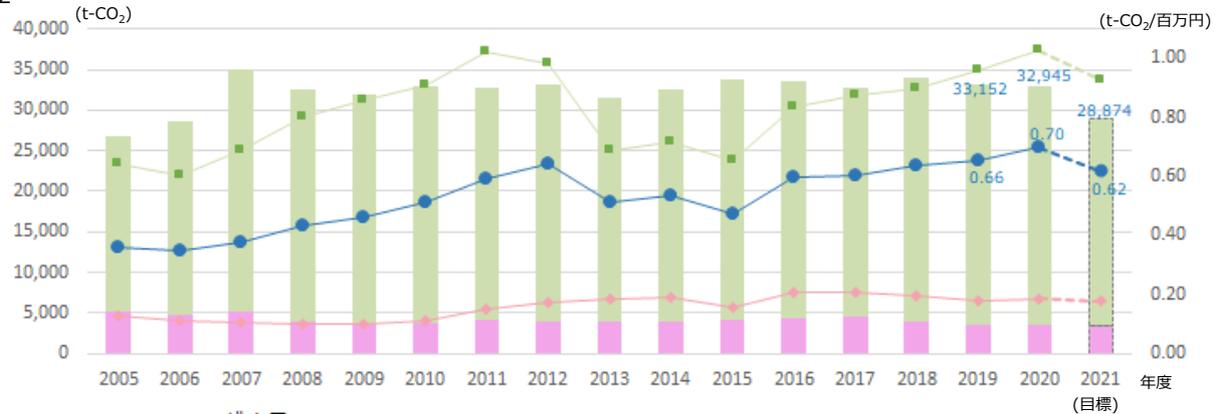


省エネルギー・省資源への取り組み

SMKでは、地球温暖化防止を重要な経営課題として、エネルギー効率の改善を図っています。

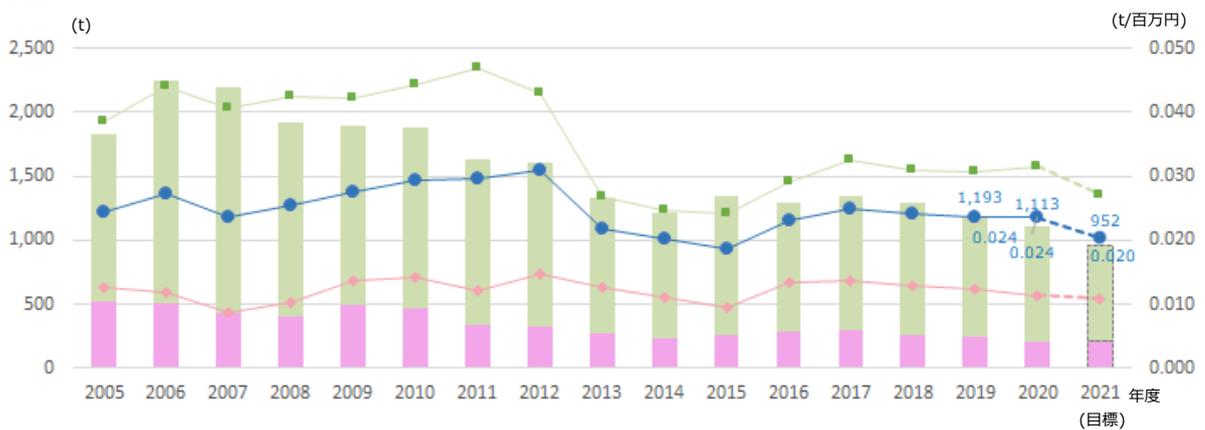
また、廃棄物量の抑制やゼロエミッション化（廃棄物埋立処分量ゼロ）に取り組む、資源の有効活用を目指します。

CO₂排出量



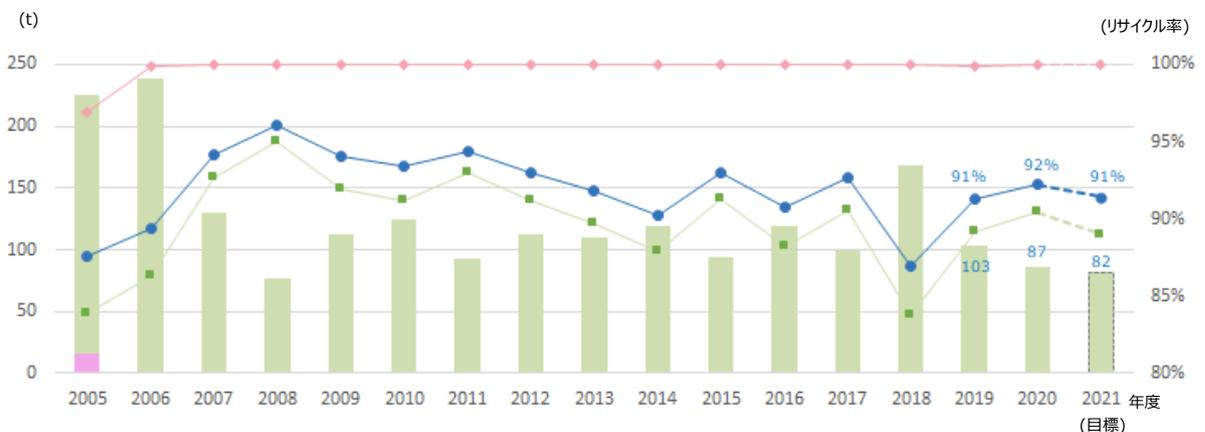
	前年度実績比		
	国内	海外	SMKグループ全体
生産高CO ₂ 原単位	104%	107%	107%
CO ₂ 排出量	97%	100%	99%

廃棄物排出量



	前年度実績比		
	国内	海外	SMKグループ全体
生産高廃棄物原単位	92%	102%	100%
廃棄物排出量	86%	95%	93%

埋立処分量とリサイクル率



	前年度実績比		
	国内	海外	SMKグループ全体
埋立処分量	-	84%	84%

環境会計

環境保全コストと効果

金額単位：百万円

コスト分類	主な取り組み内容	環境保全コスト				経済効果		環境保全効果（物量）	
		投資額		費用額		金額	前年度比	削減量	前年度比
		金額	前年度比	金額	前年度比				
事業エリア内コスト	公害防止	5.3	-	34.6	87%	0	-	環境負荷物質 使用量 16.9t	61%
	地球環境保全	17.9	127%	53.8	93%	18.8	84%	生産高CO ₂ 原単位 ▲0.043t-CO ₂ /百万円	195%
	資源循環	0	-	24.0	97%	119.9	84%	埋立処分量16t 生産高廃棄物原単位 ▲0.0000t/百万円	25%
	小計	-	-	112.4	92%	138.7	84%	-	-
上・下流	グリーン購入の推進 等	0	-	0.7	247%	0	-	-	-
管理活動	蛍光X線分析装置の更新、製品への環境負荷物質非含有保証活動、環境マネジメントの推進 等	0.6	30%	148.6	88%	0	-	-	-
研究開発	工口製品開発の推進 等	0	-	6.7	64%	0	-	-	-
社会活動	地域および事業所内緑化活動 等	0	-	6.5	65%	0	-	-	-
環境損傷	-	0	-	0	-	0	-	-	-
合計	-	23.9	148%	274.8	88%	138.7	84%	-	-

◎環境保全コストについて

2020年度の環境保全コストは、前年度に対し投資は大幅増加、費用は若干減少となりました。投資が大きく増えた理由は、省エネルギー対策としてコンプレッサー集中管理装置の導入、空調設備の更新を行ったためです。

◎経済効果について

2020年度の経済効果は、前年度に対し減少となりました。廃棄物の売却益と生産設備のリユースによる効果の減少が主な原因です。

◎環境保全効果（物量削減）について

環境保全効果は、改善活動を推進した結果、環境負荷物質使用量と廃棄物埋立処分量を改善できました。生産高CO₂原単位は大きく悪化しましたが、生産高廃棄物原単位はほぼ前年度並みの実績でした。

太陽光発電実績

SMKおよび子会社が所有する太陽光発電システムによる2020年度の発電量は128万kWhでした。CO₂削減効果は404t-CO₂です。



▲茨城県

▼群馬県



▲フイリピン工場

環境活動トピックス

毎年、廃材で製作したスクールチェアの寄付（フィリピン工場）や小学生を対象とした体験型環境学習講座の開催（本社）などの活動を継続して行ってきましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動の縮小を余儀なくされました。こうした中、実施可能な活動を感染対策をしながら取り組みました。未だ収束の見えない状況ではありますが、人と環境との調和を促す活動を中断することはできません。これまで培ってきた活動の基盤やノウハウを無くさないように、ウィズコロナ・アフターコロナ社会に対応した社会貢献を模索しながら努めていきます。

植栽活動

しながわCSR推進協議会の会員として、「しながわ花海道」の種まきに参加しました。

「しながわ花海道」はNPO法人が維持管理を行っているプロジェクトで、勝島運河護岸の約2kmに菜の花やコスモスの花を育て、自然豊かで調和のとれた社会づくりに貢献しています。

2020年度の参加企業が一齐に行う種まきはイベントは中止となりましたが、各企業が日程をずらして種まきを行ったことで、例年と変わらぬ美しい花海道を楽しむことができました。

本社



植樹活動

SMKフィリピン工場では、地域の植樹活動を10年以上続けています。

2020年度は、地域の環境保護団体が主催する植樹活動に参加し、バナナとモラベの苗木200本を植えました。



フィリピン工場

環境活動トピックス

資源の有効活用

中古品のリサイクル

2020年12月、リサイクル促進活動の一環として、古着、ペットボトル、古紙などを回収する環境公益活動を行いました。

合計 約30kgの中古品を回収し、東莞市のリサイクル事業に貢献しました。

中国東莞工場



ペットボトルキャップの回収

SMKグループは国内外の各拠点で、地域の福祉団体によるペットボトルキャップ回収事業に参加しています。

SMKメキシコ工場では、専用のコンテナを設置して2カ月で150kgのキャップを回収し、地域の福祉団体へ送りました。

この団体の活動目的はメキシコの闘病中の子供たちへの支援で、治療費、薬、食料などの提供に貢献しています。

メキシコ工場



清掃活動

SMKグループは、地域の清掃活動に積極的に取り組んでいます。

ひたち事業所

富山事業所



SMKグループの社会貢献活動は、ホームページで公開しています。
是非、ご覧ください。

